



あらむね

Vol. 59

2020.3.1 発行

Shining Stars



わたしは遺産として
祈りの精神をのこします
創立者 福者 マリー・リヴィエ

「あらむね」の由来

「あらむね (ALUMNAE)」とは、女子同窓生という意味で、ラテン語が語源の英語“ALUMNA”の複数形です。シスター・フェクトが命名、元教頭 堀先生が題字を揮毫してくださいました。

挨拶



賢明ファミリーの皆様へ

会長 永井 綾子 (旧姓：大野) (24回生)

賢明ファミリーの皆様、『令和』になって初めての本誌をお届けいたします。まだ慣れない元号に戸惑うことも多い日々ですが、皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

67回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今、皆さんの前にはまっすぐに伸びた一本の道がどこまでも続いています。賢明で学ばれた多くのことがその道を照らす灯りとなって、皆さんを導いてくれることを心から願っております。また、皆さんを賢明ファミリーの輪の中にお迎えできるのは、私達にとって大きな喜びです。同窓生として様々な世界でご活躍されることを期待しています。

さて、母校の新しい制服も見慣れたものになってきましたが、奉献会が企画・販売されました旧制服のリカちゃん人形が話題になり、いろいろなメディアで取り上げられました。

そしてそれは、たくさんの場面で賢明を見ることができる良い機会でもありました。多くの方が、久しぶりに母校を見て懐かしかった、と思われたのではないのでしょうか。遠く離れた地に住んでいる方のみならず、姫路在住の方からも同様のお話を伺いました。同窓会では昨年より、フェイスブックやインスタグラムでもバザーの様子や同窓会からのお知らせ等の情報を発信しております。ぜひ検索して頂き、たくさんの方にご覧いただければと願っております。

また新しい時代の始まりと共に、母校賢明でもいくつかのプロジェクトが動き出しました。前年度より本誌にもその具体的な内容や経過などを掲載しております。同窓会は母校の発展のため、そして未来の同窓生のためにこれからも『リヴィエ プロジェクト』の推進を支援していく所存です。何とぞご理解を頂き、更なるお力添えをお願いいたします。

今年は日本でオリンピックが開催されます。世界の国々で暮らす同窓生の皆さまにも日本の話題が多く届くことと思います。皆さまが日本を思う時に母校にも思いを馳せていただければ幸いです。(本誌は海外在住の同窓生にも発送されています。)



感謝と希望をこめて

理事長 シスター 山本 千恵

同窓生の皆様

今年も花便りの始まりとともに67回生108人が賢明を巣立ち広く社会に飛び立ちました。先輩同窓生の皆様に加わり「世の光、地の塩」になってゆかれることを願い心よりお祈りしております。

最近の年刊「あらむね会報」によって、ますます増し加わる同窓生の皆様の動静を広く伝えていただけるのが大変嬉しく、たびたび読み返します。

そして、校内の同窓会室に定期的にお運びくださる役員の皆様をはじめ、「あらむね会報」編集作業にご奉仕くださるかたがたや、種々の学校行事・同窓会などにお集りになる同窓生のお姿に接することも多くなりました。また、今年から在校生のために新しく始めました「卒業生 VISIT」や「キャリア講座」の企画実施のために講師としてご来校くださるなど、同窓生の皆様が賢明にもたらしてくださる豊かな実りを実感させていただいております。しみじみと感謝の念を覚えますとともに、未来を明るく照らす希望の光を感じます。

どうぞ賢明ファミリーの心が一つに結ばれ、同窓生の皆様お一人お一人にさずかっておられます恵みの賜物をお大事に、近く遠くまた広く互いに分け合いながらのご活躍をお続けくださいますようお願いしております。



皆様とともに

校長 松浦 明生

リヴィエ会員の皆様におかれましては常日頃より学院の教育事業に暖かいご支援を賜り、ありがとうございます。お陰様で、新しい時代に対応した教育内容を提供しつつ「燈台の光」となる人間を育てる目的で昨年より始めましたリヴィエ・プロジェクトは、2年目に入り充実してまいりました。

まず校舎のリニューアルについて、現段階での進捗状況をお伝えいたします。今年度は、8月に1号棟中央トイレの改修と隣接する中央階段の壁の塗り替えを行いました。11月下旬からはリヴィエ館の空調設備新設工事に入り、1月に完成いたしました。寒い時期に行われる入学試験、卒業式を快適な環境で行うことができるようになりました。来年度以降につきましては、リヴィエ館の舞台の音響・照明設備の改修や6号棟のメディアセンターに向けての改修等を計画しております。

また今年度より、卒業生をお招きして授業をしていただく「卒業生VISIT」を新たに始め、1学期に内橋恵様（33回生）、2学期に永田萌様（14回生）、3学期に末延則子様（32回生）にお越しいただき、それぞれのご専門分野に関係する授業をしていただきました。私はすべての授業を見学させていただきましたが、それぞれ素晴らしい内容の授業であり、また母校愛の感じられる授業でもありました。生徒も先輩が社会で活躍している様子を知って感銘を受けるとともに、そこに自分自身の姿を投影して将来への希望と自信を持つことができました。また、卒業生の在学中の様々な体験も聞かせていただき、先輩も自分たちと同じように悩みながら成長していったことを知って大きな共感を覚えたようです。今後、本校の誇るべき授業として続けていきたいものと考えております。

賢明女子学院は2021年に創立70周年を迎えます。母校を愛する卒業生の存在は学院の教育事業になくてはならないものです。リヴィエ会の益々のご発展を祈念いたしますとともに、今後とも学院の教育事業へのご協力をよろしくお願いいたします。

67回生を送り出すにあたって

高3(67回生)学年主任 林 真

67回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、同窓会の皆様には、今年度、新しく会員となる67回生のために式の準備などでお心配りをいただき、ありがとうございました。おかげで無事、賢明を卒業することができました。

67回生は、人数は少ない学年でしたが、明るく元気でパワーのある学年でした。合唱コンクールや体育大会、球技大会などの行事では、自分たちが何年生であっても、ベストの結果が残せるように努力や工夫を凝らして取り組みました。一方で、まわりの人への優しさも忘れず、創立者マリー・リヴィエや聖母マリア、イエス・キリストの生き方を、少しずつですが見習うことができるようになってきたように思います。また、学年の目標である「世の中に光と平和をもたらす人になる」ことができるように、賢明での多くの出会いを通して知識や教養を吸収し、知性や知恵を身につけてきました。

新しく同窓会に仲間入りする67回生が、同窓会の先輩方とともに、世の中に光と平和をもたらす灯台の光となることができるように、よろしくお願いいたします。そして、賢明ファミリーのますますの発展をお祈りしております。

卒業のことば

坂田 芙実 (67回生)

新しい制服に身を包み、満開の桜に歓迎されるように67回生の賢明生活が始まりました。

最初は不安なことが多くありましたが、互いに助け合い、励まし合う67回生に出会い毎日の学校が楽しみになりました。そしてDeARプロジェクトや教会に行くなどといった賢明でしかできないことをたくさん経験することができました。また、部活では他校の人と合同練習をして刺激をもらい、さらに練習に励むことができました。元気いっぱい67回生、生徒に寄り添いながら教えてくださった先生方、部活でキラキラと輝いた憧れの先輩方、必死になってついてきてくれた後輩達。

たくさんの人たちと愛に包まれた賢明で過ごした日々は忘れることのできない宝物です。

これからは新たな未来へのスタート地点に立ち、賢明で学んだ"The Best"の精神を胸にそれぞれの夢へと進んでいきます。

67回生全員が社会に貢献することのできる立派な女性になれるように。



2018年度 進学状況

国公立大学

大学名	学部名	現役	既卒	合計
大 阪	外国語	1		1
神 戸	医	1		2
	理	1		
兵 庫 教 育	学校教育	1		1
奈 良 教 育	教育	1		1
鳥 取	医	3		5
	工	1		
	地域	1		
島 根	総合理工	1		1
岡 山 医		1		1
長 岡 造 形	造形		1	1
神戸市外国語	外国語	2		2
神戸市看護	看護	1		1
高 知 県 立	文化	1		1
合 計		16	1	17

私立大学

大学名	学部名	現役	既卒	合計
青 山 学 院	教育人間科	1		1
慶 應 義 塾	看護医療	1		2
	商	1		
上 智	総合グローバル	1		3
	文	2		
昭 和	歯		1	1
聖 心 女 子	現代教養	1		1
聖路加国際	看護	1		1
多 摩 美 術	美術		1	1
東 海	農	1		1
東京造形	造形		2	2
東京農業	応用生物科	1		4
	生物産業	3		
東京理科	基礎工		1	2
	薬		1	
日 本	生物資源科		1	1
日本赤十字看護	看護	1		1
法 政	国際文化	1		1
武蔵野美術	造形		1	1
皇 學 館	文	1		1
京 都 女 子	発達教育	1		1
京 都 薬 科	薬	2	1	3
同 志 社	経済	1		6
	商	1		
	政策	2		
	文	2		
同志社女子	学芸	1		3
	表象文化	2		
立 命 館	理工	1		1

大学名	学部名	現役	既卒	合計
龍 谷	国際	2		7
	社会	1		
	文	3	1	
大 阪 工 業	工		1	1
大阪樟蔭女子	学芸	1		1
大阪総合保育	児童保育	1		1
大 阪 薬 科	薬	1		1
関 西	外国語	4		7
	社会	1		
	商	1		
	文	1		
関西医科	医		1	1
関西外国語	英語国際	3		5
	外国語	2		
近 畿	国際	1		1
摂 南	看護		3	3
関西国際	保健医療		1	1
関西福祉	看護	4		4
関西学院	教育	3		22
	国際	2		
	社会	2		
	商	1		
	総合政策	7		
	文	5		
	理工	2		
甲 南	経済		1	3
	文	2		
甲南女子	医療栄養	1		11
	看護リハビリテーション	8		
	人間科	1		
	文	1		
神戸学院	グローバルコミュニケーション	1		7
	心理	1		

大学名	学部名	現役	既卒	合計
神 戸 学 院	薬	4	1	
神戸芸術工科	芸術工	1		1
神戸松蔭女子学院	教育	1		8
	人間科	4		
	文	3		
神戸女学院	音楽	1		15
	人間科	4		
	文	10		
神戸女子	家政	1		19
	看護	9		
	健康福祉	1		
	文	8		
神戸親和女子	発達教育	8		8
神戸常盤	保健科	2		2
神戸薬科	薬	7		7
園田学園女子	人間健康		1	1
姫 路	看護	3		3
姫路獨協	看護	1	1	3
	薬	1		
兵 庫	生涯福祉	1		1
兵庫医科	医		1	1
兵庫医療	看護	1		4
	薬	3		
武庫川女子	教育	4		15
	文	8		
	薬	2	1	
岡山理科	理	1		1
川崎医療福祉	医療福祉マネジメント	1		1
就 実	薬	1		1
広島修道	人文		1	2
	健康科学		1	
立命館アジア太平洋	アジア太平洋	1		1
合 計		184	24	208

2020年度 中学入試状況

入試係 守田 悠紀

2020年度は、中学でもコース別での募集を開始して3度目の入試となりました。今回も入試の方式を若干変更し、賢明を第1志望とする受験生にはAB日程の両日とも受験してもらうことになりました。共学志向が高まる中、昨年度よりも多くの新入生を迎えられそうです。ホームページでは常に情報を発信し、学校見学はいつでも可能です。賢明のよさをご存じの卒業生の皆様も、近くの小学生・中学生にお声がけをお願いします。

中学入試

入試日程	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学予定者数
A日程	135	122	119	99	S42 L75
B日程		141	138	106	
C日程	10	54	11	5	
計	145	317	268	135	117

※1月25日現在。合格者数は、A・B日程重複をのぞく。

あらむね58号では、同窓会の設立から現在の形に至るまでの経緯や運営にあたって心掛けてこられたこと、ご苦労されたことなどをお話していただきました。

59号では、**同窓会で役員をされて印象に残ったこと**を、お集まり頂いた方々を代表して、会長を務められた中谷さん、三宅さんにお伺いしました。

2回生 中谷 節子（増田）さん

会を維持するには運営資金が必要です。ですから会での交際費・慶弔費は個人持ちとして節約に節約を重ね、バザーの収益金を同窓会資金の為にコツコツと貯めていきました。

同窓会の運営が軌道に乗ってきたのは、前号でも触れさせていただきましたが、入学時より積立てた同窓会の終身会費を卒業時に同窓会へ入金して頂けるようになったからです。これには学校と特に奉獻会の皆様からの多大なお力添えがありました。改めて心より感謝申し上げます。



焼失前の修道院

そうして会の維持費としてまとまった資金が出来かけた時、カナダの修道院が火事で全焼、同窓会から母であるシスター方へ感謝とお見舞いの気持ちを込めて送金することが出来ました。

その後カナダで行われたマリー・リヴィエ列福200年祭に、吉江副会長、佐川副会長、神谷副会長と共に着物姿

で日の丸旗を持って参列した事は、感慨深く感銘を受けるものでした。

長い間会長を務めましたが、同窓会50周年前に会長交代をしたことは良かったと思っています。若い力の素晴らしさ。又、Sr. フェクトのアドバイスにも感謝です。

子育ての最中には何も見えない時もあり、若い方たちにも何かとご迷惑をお掛けしたと思います。申し訳なく思うと同時に大変感謝しております。

また、本部役員の方々のご協力がなければここまで来ることはできませんでした。ここまで26年間私を支えて下さった本部役員の皆様、同期の皆様、特に長年学院で事務にお勤めされ、学校と同窓会の橋渡しにご尽力下さいました2回生の橋本恭子さんには感謝です。

各役員の皆様有難うございました。



Sr.アドリエンとボストン近くのメトゥインにて

14回生 三宅 典子（釜谷）さん

会長を引き継いで一年余りで同窓会の50周年記念行事を執り行わせて頂いたことです。同窓会あげての一大イベントでした。同窓生の自薦他薦により各界でご活躍の方々が多数お集まり頂くことが出来驚きと感謝でした。

『タカが賢明!! サレど賢明!!』でした。

これがきっかけとなり、学校との連携が更に強まり、現在の生徒達へのキャリア講座に繋がっています。

記念行事では暗中模索の中、本部役員各委員皆で話し合い、それぞれが自分のできる「ザ・ベスト」を尽くした結果、賢明で育んでいただいた各々の花が賢明同窓生の大輪の花となって会場イーグレに咲きこぼれました。



同窓会50周年記念式典プログラム

地元姫路にも「賢明ここにあり!!」と改めてアピールすることができ、各方面から多くの来場者をお迎えすることができました。

また懐かしいSr. ティオデュール (Sr. フェクト) から同窓会50周年へのお祝いメッセージのテープを送って頂き、記念祝宴にSr. フェクトのお声が聞け懐かしさで胸が一杯になりました。

シスター方、新旧先生方、同窓生、そして観客席の在校生が一堂に集い、賢明ファミリーを実感、感激と感謝の一週間でした。

本部役員・各委員一丸となって取り組んだことにより、同じ方向を向き歩を進めて行く大切さを改めて実感致しました。また前会長とも連携良く、陰になり日向になりアドバイスや後方援護を頂きました。先輩や様々な方々との繋がりの大切さを実感し、

無事終えられた事を改めて同窓生の皆様に感謝申し上げます。

中谷会長から引き継いだ後、シスター方もご高齢になられ、次々とカナダへ帰国され、寂しくなりました。

Sr. フランシスのご帰国お別れ会で、シスターから『同窓会は賢明の空気をリンクすることが大事ですよ!! リンクして下さいね。お願いしますよ。』とのお言葉を頂き、胸に抱きしめて心掛けました。

また、2年毎の聖母奉獻会ローマ本部から視察のシスター方との好古園での散策と歓迎昼食会も思い出深いことです。来日60余年のSr. ウェストマンが茶目っ気たっぷりに日本語・英語・フランス語を駆使してローマ本部からのシスターと私達との通訳して下さいました。その後体調を崩され、カナダで闘病生活の為ご帰国が決まれた時に「私は日本に骨を埋めたい。帰りたくない。」と仰り、最後まで日本と賢明を愛して下さいました。後、カナダで天に召されました。その後もSr. ヘンリーの帰国、Sr. ジュリアナのご昇天等、楽しい思い出とお別れ、懐かしいシスター方との交流が思い出されます。

賢明ファミリーの良さにどっぷりと浸らせて頂きました。

理事長様・校長先生はじめ先生方、事務局の皆様、そして同窓会本部役員（10回生西戸千種・12回生坪田幸子・14回生渡辺弘子・10回生井田由・20回生柴原幸代）各委員会各回理事の皆様ご協力有難うございました。改めて心よりお礼と感謝申し上げます。



ローマ本部から管区長様をお迎えして

女性が輝く、今

新春座談会にあたって

市長 本市では、男女共同参画を市政の柱の一つに据えて、さまざまな取り組みを行っています。実際に、市政を推進していく中でも、大きな課題や新たな企画を検討する際には、必ず女性の意見を聞くようにしています。

今回、対談をお願いしたお二人は、本市にゆかりがあり、日本だけでなく世界でも活躍されています。また、山川さんは、30年1月から、本市の魅力をPRしていただく「姫路ふるさと大使（ひめじ観光大使）」に、永田さんは、同年4月から市立美術館館長に就任していただいています。

この機会に、お二人のことを市民の皆さんにも知っていただくとともに、なによりいい刺激になるような話を伺えると思います。

逆境は努力の元。 だからやりがいがある

一まずは、山川さんに、生い立ちや、姫路での思い出を伺いたいと思います。

山川 私は東京生まれですが、3歳から17歳まで姫路で育ちました。あの頃は、まだ戦後から復興中で、とても貧しく苦勞をたくさんしましたね。でも、そんな状況が、世界へ羽ばたきたいという思いを育てたんだと思います。17歳の時、外交官の叔父と一緒に旧ソ連のモスク

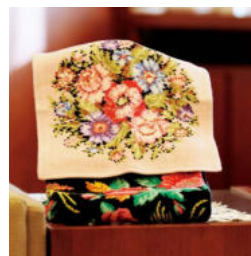
(7回生)

山川 和子 さん

モンリーブ創業者
企業向け研修の会社
であるモンテリビエ
の代表
姫路ふるさと大使



姫路市長
石見 利勝



ワに。東京オリンピックの時にはロシア語の通訳もしましたよ。

一国際結婚されて、その後、ご夫婦で起業されたとのことですが

山川 25歳の時にフランスのリッツ香水店に入社、その創業者一族の一人、運命の出会いをした夫と姫路で結婚式を挙げたんです。その後、人生の転機が。ベルギーの避暑地でたまたま見つけた1枚のハンカチ。この柄でした(下写真)。2年かかりましたが、生産会社を訪ね、ドイツのフェイラー社のシュニール織だと分かりました。夫は50歳で、フランスの生活を整理し、日本でそれを扱う会社・モンリーブを共に立上げたんです。

一経営の面白さ、難しさは？

山川 なにせ最初はまったく売れませんでした。日本では知名度もないし。でも楽しかった。最初から売れたら努力しないじゃないですか。向かい風だから私も夫も頑張れたんです。母や姫路の友達もいろんなアイデアを出してくれて、それを形にして。だから姫路で育てて日本全国に知れ渡ったようなものなんです。

40年間携わった後、会社を譲渡し、今は経営から退いていますが、親子3代で使っていると聞くと、今でもすごく嬉しいですよ。

播州で生まれ育ったからこそ描けるふるさと

一続いて、永田さんに生い立ちなどを伺いたいと思います

永田 私は加西市で生まれ、賢明女子学院に通った12歳から18歳まで姫路で過ごしました。山川さんは先輩です。ちょうど姫路城の昭和の大修理の時期で、修復が終わって少しずつ姿を現していく城が、黒いマントを脱いでいく貴婦人のように感じたものです。あの光景が、きっと私の美に対する気持ちを育ててくれたのでしょうね。

姫路を離れてからは、京都で会社員としてグラフィックデザインの仕事をしました。でも、仕事の中で、自分の好きなものは自分でしか描けないことに気付いたんです。それで会社を辞めて、フリーのイラストレーターになりました。

一永田さんの作品が多くの人に愛される理由は？

永田 播州育ちということが大きいと思います。兵庫県は、北の豊岡から南の淡路まで、日本の気候風土が全部詰まっているんですよね。播州は其中でも特にそう。私の絵をご覧になった人から、「これは私のふるさとの風景だ」とよく聞きます。私の描いたふるさとが、皆さんのふるさとになる、この幸せは、この地で生ま

平成31年1月号の『広報ひめじ』に、前姫路市長と同窓生の対談が『新春座談会』として掲載されました。賢明で学ばれたお二人が「姫路の顔」として『女性が輝く、今』をテーマにお話をされています。改めて同窓生の皆さまにご紹介いたします。

(山川さんは、高校2年生まで賢明に在学後、モスクワに留学されました。)

れ育ったから味わえるのだと思っています。

市長 お二人とも本当に姫路を大切に思っておられて、ありがたく思います。姫路は気候がいいし、自然と人工のバランスもいい。でも、そのせいもあるのか、なかなか歴史を動かすような人物は現れないんですね。だから、お二人のことは心から尊敬しています。

(14 回生)

永田 萌 さん

イラストレーター・
絵本作家
姫路市立美術館館長



個＝孤独＝責任と 日本人の誇りを

—若い女性が、これから世界に羽ばたくためには、何が必要でしょうか

山川 人生や仕事で、自分の価値観がどこにあるのかを常に意識することが大切ですね。ビジョン、価値観があるかないかで、人生や仕事は大きく変わります。あとは、無理に、女性、男性ということにこだわる必要はないと思います。大切なのは自分という「個」。それぞれの個を認めつつ、日本人であることへの誇りを持つことが大事だと思います。

永田 「孤独」に強いということもすごく重要だと思います。私は現役のイラストレーターで、まだまだ長い道を歩きます。自分をしっかり持つ、それは山川さんのおっしゃった「個」にもつながると思います。

日本人の誇りで思い出しましたが、以前、海外で展覧会をした時に、ツバキの花がコケの上に落ちていた絵を描いたのですが、その時の現地の人の反応が「なぜごみを描いているの？」だったんです。落ちていた花はごみだと。日本人はそうは考えないですよ。そういった美意識が、日本人には生まれ育った

風土の中で培われているのです。それは誇りですね。

市長 「個」や「孤独」には、他人に委ねないという意味で「責任」にもつながります。そこも意識して、自らの道を歩んでももらいたいですね。

目に見えないものこそ大切に

—生涯現役の考え方は？

市長 日本は豊かになり、昔に比べて寿命も延びました。「お金持ち」そして「時間持ち」になったわけです。

本市では、高齢者に、ボランティアをしていただく、あるいは昔でなかった趣味をしていただくために、生涯現役と銘打って、さまざまな取り組みを行っています。生涯現役フェスティバルで2年に1回開催する高齢者ファッションショーなどは、見ごたえもあるし、なにより出演者の活力は、若い人にも見習ってほしいくらいですよ。

永田 私が教えた生徒の中で最高齢は82歳のおばあさん。絵本を作る教室に来られたのですが、絵を描くことは初めてなのに、その作品は最高賞を受賞したんですよ。誠実に歩んでこられた人生がストーリーにあふれていました。そのような人が増えると、必ず社会はいい方向に行くと思います。

山川 人は生を終えるまで自分を磨き、教養を高めるためにたっぷりある時間を使えます。無形を磨いていれば、いつか自分に、また、社会のために役立つ日が来ると信じています。

市長 皆さんそれぞれ個性があり、役割を担っています。子どもなら、そこにいっただけで場が和みます。すごい存在感ですよ。高齢者の智恵や経験もかけがえのないものです。一人ひとりに物語があり、そこにお互いを「尊敬」する気持ちが入れば、よりよい社会になると信じています。まずはいろんなことに興味を持つことが第一歩ですね。

聞き手：吉川 佳代（姫路ケーブルテレビ）

写真提供：姫路市

Shining Stars

～卒業生の一人一人が輝いています～

夫と夫の病気に感謝

私、75歳。いや何かが違う。

10年前から、パーキンソン病を患っている主人を介護の生活。アーッ！こんなはずではなかった。しかしこの生活に入ってやっと判った。残り少ない人生の時間の大切さを。

私の1日の自由時間は朝9時から夕方5時迄。

いかに大切に使うか、腕の見せ所だ。なめてもらっては困る。

誰に言われるまでもなく4年前から落語の世界に足を踏み入れた。何とそこに拡がる世界は今まで習ってきた日本舞踊も能も茶道の中の全ての所作や着物まで落語の為にあったように思える。

落語は楽しい。人を笑わせ自分も笑い、幸せになれる。つらい残りの1日の半分の忘れさせてくれる妙薬だ。大げさにいうと、明日への活力剤だ。

主人と二人で行くつもりだった海外旅行もクソッ！くらえだ。今の私なら落語の世界へ旅ができる。家主の仁兵衛さんも隣の徳さん、竹やんや女房のおさきさんも皆知り合い。同じ空間を共に生きることができる。

元々私は三枚目、人生を斜（しや）に見るのが大好き。皮肉を言い乍ら色んな人になることができる。最高



ではないか。年を取っても口だけは達者。頼まれれば何処へでも出陣する。私が大好きな大阪のおばちゃんそのものである。主人にはりハビリと称して演目を書く「めくり」を作ってもらいヘルパーさん達もこの世界に巻き込んでいく。

もちろん私の周りには沢山の応援団がいる。友人達、娘と息子の家族は言うに及ばず我が家の嫁は私の応援団長兼マネージャーも務める心強い味方だ。私は幸せ者。周りの人から見れば、少々うるさい、困った落語家が誕生した。

私の名前は落語亭洲枝（しゅうえ）です。75歳の未来は前途洋々なのだあー！



10回生
関田 正子さん
(旧姓：老初)

*profile

賢明卒業
関西学院大学
20年間の主婦生活を経て、
兵庫県三木市で主人が外科開業
同時に厨房を手伝う
10年後、震災を経験して、
神戸常盤大学と提携してときわ病院設立。
同時に喫茶「サライ」を併設し、毎日6人の若い人達と共に働いて今に至る。

めぐりあい 自分史からの学び

私は平成31年3月末、たつの市健康福祉部参事児童福祉課長を最後に、60歳で定年退職しました。県立病院看護師、市町保健師として、多くの人との出会いがあった公務員34年3か月の専門職を終えた人生（自分史）を振り返ると、自分なりの数多い山あり、谷ありからの学びがありました。

小中高校では、毎週見続けた『兼高かおる世界の旅』や『大草原の小さな家』の影響で、将来英語やドイツ語等を駆使し、海外や大自然に出て行く旅行ジャーナリストになりたいと夢とあこがれを持ちました。

しかし、大学受験で看護の道へ180度進路変更。看護師、保健師の国家資格をとり、最初は兵庫県立病院がんセンター外科病棟看護師として、技術のみならず、命の大切さや生きる意味を学びました。次に地元相生市に帰り、父母に親孝行できた中、夫の母（姑）が54歳の若さで脳出血で亡くなり、急に退職するまで5年3か月働き、保健師として健診、健康相談や健康教育を実施。人とのふれあいや健康の喜びを知りました。相生市退職後、赤穂で子育てに専念、3年9か月家庭に入りました。その後揖保川町に再就職、33歳で仕事に復帰。子育てしながら女性が働くには、5歳・3歳・1歳の子供3人の母、夫には妻、舅には嫁として大きな三役を担い、毎日超多忙。3か月で5kg痩せ、白髪も沢山増え心身フル回転。家族や周囲の人の支えと感謝が

大きかった時でした。復帰後平成7年、阪神淡路大震災。災害保健師活動で多くの人の暖かさや力を合わせる大切さを知りました。平成17年10月平成の大合併でたつの市健康課配属となり、再び平成23年3月に東日本大震災。宮城県・岩手県へは個人ボランティア、5月中旬に関西広域連合から南三陸町へ災害派遣活動を行い、命の尊さを痛感しました。退職1年前には児童福祉課長へ異動。児童虐待やDVによる子どもの保護など深刻かつ重大な問題を職場のチーム力と関係機関との連携で対応。仕事、子育て、看護、介護など困難かつ節目の山を辿ってきた自分史から得た信念、責任や努力は、次の世代がきつと受け継いでくれると確信しています。

退職後、若い日からの夢でもある国内外の旅から日本の良さを再発見し、2020年は東京オリンピック・パラリンピックのボランティア活動を行い、今後笑顔で人を大切にしたいとします。



24回生
折原 敏美さん
(旧姓：酒井)

*profile

1958年 相生市生まれ
兵庫県、相生市、揖保川町、
御津町、たつの市で看護師・
保健師で勤務



医療機関での大切な災害訓練

肛門科医という穴仕事？！

女医というとガッキーや米倉涼子のようなドラマに出てくるカッコイイイメージがあるかもしれませんが、私の仕事は肛門科医。カッコワルイ、クサイ、キタナイ、キツイの4Kの仕事です（笑）。でもこれがとても楽しくてやり甲斐があるのです。

元々皮膚科医をしていましたが、主人の病院を手伝わなければならない状況がきっかけとなり、皮膚科医をやめて肛門科医に転身しました。「皮膚科なら何も私がやらなくても、やりたい女医さんがたくさんいる。華々しい仕事よりも、誰もがやりたがらない仕事を進んでやろう」そう思って潔く職業を変えました。肛門科を専門にする女医は当時たったの5名（現在も約20名）。女医が少ないという理由もあり、痔に悩む女性にとっても喜ばれました。命に関わる病気ではないけれど、恥ずかしくて誰にも言えない病気だからか、人生に暗い影を落とし、一人で思い詰めている女性も少なくありません。診察室で涙を流す患者さんが多いことに驚きを感じましたが、それはすぐに仕事のやり甲斐に変わりました。決して「なりたい職業」を選んだわけではありませんが、自分の仕事が患者さんの役に立ち、たくさんの人から喜んでもらえる。与えられた仕事を精一杯やることで、いつしか「自分にしか出来ない仕事＝使命」になるように思います。何をやりたいか分からない、決められない人もいるかもしれません。そんな時は誰かに喜んでもらえる、それが自分も嬉しいという仕事をやってみるのもいいものです。誰かの役に立てるって嬉しいですよ。



33回生 佐々木みのりさん（旧姓：小林）

* profile

大阪医科大学卒業
大阪肛門科診療所 副院長

一度きりの人生を存分に楽しむ！



化学が好きで進んだ大学を卒業した後、大学で学んだ化学の知識を生かせる仕事ではなく、京都大学原子炉実験所の技術職員として、原子炉を健全に動かすための環境を整える、また、周辺住民の方に安心を届けるための業務を行いました。なぜ、この職業を選んだのか？それは、ほとんど知識のない放射線・原子力の世界だったからです。知らない分野への興味、それが就職する決め手となりました。

2011年に福島第一原子力発電所事故が起こった時、自分の知識の浅さを痛感し、知識を深めるために、京都大学農学研究科で放射線管理学を学ぶことにしました。そして、2019年に自分の在籍する施設だけでなく全国にある様々な施設について知りたいと思い、転職をしました。どれもこれも

知りたいという興味から行動したものです。

とにかく、私は「興味が湧いたことは全部する！」の欲望に素直になることにしています。それは、仕事だけでなく趣味についても同じです。遊びについても興味が湧けば、可能な限りチャレンジしました。そのおかげで、器の絵付け、釣り、木工という一生ものの趣味と仲間に出会えました。木工では、ベッドやTVボードを作り、我が家のカウンターテーブルも自分で継いだ木を大工さんに入れてもらいました。

じっくり1つのことをやり抜くということももちろん素敵ですが、興味がまかせて色々手を出してみるのも悪くないもので、色んな世代・分野のお友達が色々な場所にできて人生の財産になっています。これからも仕事&プライベートの両方において、興味の湧いたことは可能な限りチャレンジし、一度きりの人生を楽しみたいと思っています。



46回生 藤原 慶子さん

* profile

1980年 兵庫県加西市生まれ
2004年 大阪府立大学卒業
2004年 京都大学原子炉実験所（現 複合原子力科学研究所）入所
2013年 京都大学農学研究科 博士後期課程 入学
2019年 原子力規制庁 入庁

原子力規制庁に入庁し、原子力規制部核燃料施設審査部門に配属となり、青森県六ヶ所村にある再処理施設の審査を行っている。

Shining Stars

～卒業生の一人一人が輝いています～

「伝える」を追求する毎日！

故郷姫路を離れ10年近く。私は今、コテコテの関西弁を封印して静岡でアナウンサーをしています。みなさん、アナウンサーにどんなイメージがありますか？ニュースの人、スポーツ実況をしている人、リポーター、宮根さん、野球選手の奥様…など色々思い浮かぶと思います。アナウンサーを一言で表すと、私はすべてをひっくるめて「伝える人」だと実感しています。事件事故、生活情報、スポーツの感動、どんな場面でもアンカーとして伝える役目を担っているのがアナウンサーです。では伝えるために何が必要か。発声練習など基本の反復。ボキャブラリーを増やす。表情や仕草で伝わるものもあるよなあ…。視聴者の方は何が知りたいだろう？今どんな気持ちで見ているだろう？毎日毎日「伝える」ことを追求しながら生放送に臨んでいます。

そしてもうひとつ。アナウンサーは命を救う仕事でもあります。2011年の東日本大震災。甚大な被害をもたらした未曾有の大災害は、報道機関にあるべき姿を問いかけるものとなり、今もそれを模索する日々が続いています。大きな地震が発生し大津波が襲ってくる恐れがあるとき、「海から離れてください。逃げてください。命を守ってください。」スタジオから呼びかけることでたとえ一人でも誰かの命を救



うことができた。そんな思いで日々訓練なども行っています。地震や異常気象、自然災害と向き合わなければならないこの時代に自分に何ができるか、第二の故郷静岡でももう少し頑張ってみます。

共に学んだ53回生の皆さんもどこかで何か頑張っていることと思います。かけがえのない大切な時間を一緒に過ごしたみなさん、どうかお元気で。



53回生
森 直美さん

*profile

2010年 同志社大学卒業後
静岡朝日テレビ入社

とびっきりしずおか
(月～金 午後4時45分～) MC
スポーツパラダイス
(金 夜11時10分～) MC
<http://www.satv.co.jp/>
静岡にお越しの際は5チャンネルを見てみてくださいね！
インスタグラムもやっています♪

今が一番楽しい！

いきなりですが、スマートロックをご存知ですか？私は今主人が起業したスマートロックの会社で仕事をしています！

スマートロックとは鍵のツマミに取付けて、スマホで鍵を開け閉めしたり、シェアしたり、遠隔で操作したりできるスマートロボットです。

私は大学、専門学校を卒業してすぐ26歳で結婚して台湾人の主人のアメリカ進学について行きました。

主人は出会った時から「アメリカ進学して起業する！」と言っていて、大学院の寮で3Dプリンターで製品を作り、ネットで資金を調達するクラウドファンディングで製品を発表、世界中から1.4億円集め起業しました。

その後一緒に台湾へと移り、2017年に日本に拠点を移しました。日本では主人の代わりに会社の設立や採用、お問合せの対応などはほぼ全ての事を任せられ分からないなりにスタッフと協力してやってきました。2018年には日本でもクラウドファンディングで新製品を発表することになり、1億円を目標に皆でPRや取材ツアーの企画などを行い、結果1.1億円を集め、そのファンディングサイト史上2位の支援金を集めることができました。

まだまだ小さい会社ですが、その自分達の仕事がお客様や会社の成長に直結する実感が得られる事にとってもやりがいを感じています。

最初は主人について行くだけの海外生活で、他の友達が会社で働いたりと活

躍している中、焦りを感じた時もありますが、主人に巻き込まれ、色んな経験が出来てしんどいですが今とても楽しいです。

これまでずっと広い世界に出たいと思っていましたが、日本にいる今が一番広く楽しい世界だと感じています。結局世界が広いかどうかは目の前の生活を充実して楽しんで過ごす事なのかもしれません。

そして2019年からは仕事以外に「女子プロ野球」にもハマっています！野球経験ゼロですが、縁があって先日は始球式もさせて貰い2019年で一番の思い出になりました！

正直学生時代に描いていた未来とは大分違いますが、今は次にどんな未来が待っているか常に楽しみです。



53回生
杉野 真子さん

*profile

2013年、柔道整復師専門学校を卒業後、結婚、渡米
2015年、台湾移住
2017年、日本帰国

主人の経営する「CANDY HOUSE JAPAN, Inc.」にて「SESAME セサミ スマートロック」のテクニカルサポート、総務を担当。
現在は台湾人の主人と東京で暮らしています。



特別寄稿

SEEC 体験

～保育士に17年ぶりに戻ったら、
とんでもないことが待っていた～

ひばりの保育 石垣のいえ 30回生 廣本 美保



卒業生の皆様、いかがお過ごしですか？
30回生の廣本美保です。

この度[あらむね]にて、私の貴重な体験
を載せていただくことになりました。

賢明を卒業し、大阪に住んでおりましたが、石垣島に旅行に来た瞬間「私が住むのはここだ!!」と思い2001年夏に沖縄県の石垣島に移住、2017年夏に保育士に復活し、現在《ひばりの保育 石垣のいえ》で働いております。

この保育士復活により貴重な経験をする
ことになりました。

勤め始めて1年が経った頃、同僚から
「SEECに応募してみない?」と言われました。

《SEEC》とは[Space Exploration Educators Conference]の略で米国NASA / ジョンソン宇宙センターのスペースセンター・ヒューストンが主催する教育関係者向けのイベント。

世界から600人以上の教育者が集まり教育に「宇宙」を活用することを目的に様々な指導方法や教材について発表や情報交換が行われるというものです。

この時、私は53歳。間もなく54歳…この歳で?宇宙って言われても…。英語もできないし…絶対無理だと思いましたが、締め切りが近づくにつれ、滅多に無い機会かも、楽しいかも…と思い始め、締め切り1ヶ月半前に応募することを決断。パソコンが苦手でしたが同僚のヘルプも有り無事応募

することができ、2週間後にまさかの合格、新潟県の小学校の女性教諭と2人、日本代表に選ばれました。

私のプレゼン内容は普段の保育の1つ【LET's JUMP 風船トランポリン】

宇宙の中の地球、その地球にしかないと言われている空気をつかまえて遊ぼう。

空気を入れた風船、1個では割れるが何個か集めて圧縮袋に入れ真空状態にすると割れない。

圧力の分散の勉強にも発展していくという内容。

ワークショップなので一緒に作り、実際に風船トランポリンに乗る体験授業を行う。

合格後、2回（日本語・英語）の調整会を経て5ヶ月後にヒューストンへ飛ぶ。

ヒューストンでは1週間滞在し、JAXAのヒューストン駐在員の方々の前で発表したり、近郊の小学校にて施設見学とプレゼン内容を小学生向けに変更し授業もしました。子どもたちはとても積極的に話を聞こう!授業を楽しもう!という姿勢がすばらしかったです。

授業の最後に石垣島の方言で「ありがとう」を「に～ふあいゆ～」と伝えると授業の後、「に～ふあいゆ～」が飛び交い、ハグをたくさんの子どもたちがしてくれました。

そしていよいよSEECの本番。プレゼンは2日に分けて2回。

英語は結局覚えきれず、ほぼ読むことにな

りましたが、できるだけ顔を上げ授業を受けて下さっている世界の教育者の方々の顔を見ながら笑顔を保ち発表しました。

ワークショップなので途中からは《風船トランポリン》の作り方、実際に乗ってみるなど直接体験してもらいました。

1日目は緊張していましたが2日目はアドリブが出るぐらい余裕がありました。

終わった後は「楽しかったわ」「あなたの笑顔最高ね」「帰ったら授業で必ずやるわ」などの言葉もいただき、大変嬉しかったです。

SEECでは自分がプレゼンするだけでなく、自分も宇宙に関する授業を受けたり、NASAの施設見学をすることもでき、3日間充実した時間を過ごせました。

TVでしか見たことのないロケットを見たり、宇宙飛行士の方々の練習風景を見たり、月の石に触ったりすると以前より【宇宙】に対して興味を持つこともできました。

この経験を今後の保育、教育に生かしていきたいと思う。

そして、子どもたちにはいろんな直接体験をして学ぶことができる環境を作っていきたいと思います。

今回の経験は《人生何があるか分からない!!》ということを実感した出来事でした。

みなさんもこれからの人生、何があるのだろう、何が起ころのだろうと、いくつになっても未来を楽しみにしながら過ごしていただきたいです。

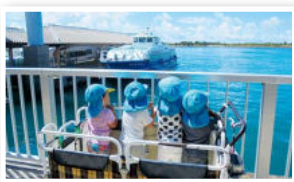
ずっと【笑顔1ばん】で生きてきた私。

プレゼン後に「あなたの笑顔最高ね」と言われ【笑顔】は世界共通だと実感した私はこれからも【笑顔1ばん】で生きていこうと思います。

JAXA URL <http://edu.jaxa.jp/education/international/SEEC/>



保育風景 近くの公園で電車ごっこ



離島ターミナルへお散歩(離島に行く大きな船や青い海を見に行きます)



小学校での授業の様子(ブルックウッドエレメンタリー スクール)



ロケットパークにてロケット(サターンV)を見学



プレゼンの様子(スペースセンター)



夜は世界各国の教育者と交流パーティー(生バンド(元宇宙飛行士)を堪能しながら食事とコミュニケーションタイム。ダンスタイムもあり)



スペースセンター、1番のフォトスポット(スペースシャトルが予定外のところに着陸したため、自力で飛べないスペースシャトルを飛行機で運んだという過去の出来事)



世界一大きなプール(宇宙飛行士が無重力の中で作業を行い、コミュニケーションを取る練習をする)



宇宙飛行士の方からのサイン(廣本の名が入ったサインを星出さん、油井さんからいただく。星出さんは2020年5月に船長として3度目の宇宙へ)



宇宙から見た西日本(宇宙飛行士の油井さんから宇宙から見た画像をいろいろいただいた内の1枚)



スペースセンター前



授業後 受講者と



SEEC授業風景



9月14日(土)学院祭において、同窓会バザーが盛大に開催されました。
秋晴れの中、沢山の皆様にご来場いただきました。
物品をご提供下さった皆様、バザーにお越し下さった皆様、開催にご協力下さった皆様に心より感謝申し上げます。
来年度もご協力よろしくお願い致します。
尚、同窓生はチケットは不要です。お気軽にお越し下さい。



ご冥福をお祈り申し上げます

わたしは彼らに永遠の命を与える。
彼らは決して滅びず、
だれも彼らをわたしの手から奪うことは
できない。
ヨハネによる福音書十章(二十八節)



旧職員 小寺沢 昭二	2018年12月7日	7回生 竹内 千代美	(藤戸) 2019年
旧職員 辻本 栄子	2018年12月8日	8回生 高橋 淑子	(小林) 2019年1月8日
旧職員 朝比奈 陽子	2019年8月20日	9回生 吉田 幸	(川口) 2019年4月28日
旧職員 山本 満	2019年9月28日	10回生 堀 和子	(堀) 2018年6月12日
旧職員 山本 敏良	2019年5月	12回生 藤田 道子	(大和) 2019年1月14日
旧職員 東 豊平	2019年10月26日	13回生 西山 富貴子	(岩崎) 2018年9月15日
旧職員 大路 早苗	2019年1月9日	15回生 中嶋 啓子	(川島) 2019年8月11日
2回生 関口 寿美子	(浅田) 2018年9月1日	15回生 渡辺 純子	(渡辺) 2007年7月7日
2回生 車谷 水子	(車谷) 2019年4月	17回生 森 真理子	(松井) 2014年8月
2回生 高島 輝代	(坪田) 2019年	18回生 中西 幸	(大塚) 2018年11月
3回生 藤本 美穂子	2017年4月9日	20回生 濱田 昌子	2019年1月13日
4回生 郡山 千鶴子	(毛利) 2017年9月4日	20回生 稲岡 章代	(山田) 2019年9月5日
5回生 三宅 幸子	(福居) 2019年1月29日	22回生 藤原 敦子	(為則) 2013年11月4日
6回生 塩谷 喜代子	(大野) 2019年3月24日	22回生 濱田 京子	(濱田) 不明
6回生 米井 妙子	(松本) 2018年11月6日	26回生 和辻 恵都子	(東) 2019年11月
7回生 衣笠 縫子	(衣笠) 2019年5月11日		

同窓会だより

同窓会の報告原稿を募集しております。毎年12月末締切りとさせていただきます。お写真、記事をメールかお手紙にてご連絡ください。

メールアドレス rivier.kenmei@gmail.com

22回生 同窓会 2019年9月7日



9月7日土曜日、清交倶楽部にて22回生同窓会を開きました。それぞれの人生を重ねた笑顔とお話に、お互いに勇気づけられ、「これからも元気でいよう!」と思える幸せなひとときでした。

今回、卒業アルバムを披露し、先生方や10代の無邪気な姿に懐かしさで一杯になりました。

又「食べるのがもったいな〜い」と「校章クッキー」を製パン店で作って頂けたことも嬉しい記念品になりました。

人生いろいろと考えさせられる同窓会、次回も多くの皆さまとお逢い出来ますように♡

橋本(宮内) 岩村(蟹江) 入船(高倉)

44回生 同窓会 2019年11月9日



2019年11月9日土曜日、THE PENTHOUSEにて44回生同窓会を開催いたしました。

日常を忘れ、学生時代に帰って素敵な時間が過ごせました。

寺田先生、柳内先生はじめご参加くださったみなさんありがとうございました。

2019年度44回生同窓会役員 松田(福田) 梓

57回生 同窓会 2019年12月28日



2019年12月28日土曜日、Pigeon Plusにて57回生同窓会を開催いたしました。

卒業して10周年に開催できたこと、久々に会ったことさえも忘れるほどの笑いの絶えない時間、あっという間の2時間でした。

参加して下さった、釧持先生、守田先生ご夫妻、57回生のみなさん、ありがとうございました!

また会う日まで、それぞれがますます幸せでありますように。

五百城朱理、伊藤真依

二十歳の子 2020年1月13日



1月13日月曜日、成人式後、ホテル日航姫路で同窓会を開催いたしました。会場にはたくさんの笑顔と笑い声があふれ、卒業し、少し大人っぽくなった姿の中にも変わらない、65回生らしさが詰まった同窓会となりました。短い時間でしたが、みんなと楽しい時間を過ごしました。

幹事: 森田早耶 吉岡さくら

2020
年度

関東地区同窓会のお知らせ

日時 2020年10月11日(日)
受付11時15分・開宴11時30分

場所 クルーズクルーズ THE GINZA
〒104-0061
東京都中央区銀座5-8-20 ギンザコア 7F

連絡先 kenmeikanto28@gmail.com
※質問がございましたらお問い合わせください。

東京2020オリンピック開催という節目の年に恒例の関東地区同窓会を東京にて開催いたします。近況などを語りながら親睦を深め、楽しい時間をお過ごしいただければ幸いです。

会場であるクルーズクルーズ THE GINZAは、東京駅からほど近く交通の便もよい銀座の中心に位置しております。皆さまお誘い合わせの上是非ご参加ください。

詳細は同窓会ホームページにも掲載する予定です。

代表幹事 小池友子(28回生)

本 部 だ よ り

2019年度 活動報告

第72回中学入学式

- 2019年4月9日(火)
会長、副会長が出席

2019年度理事会

- 2019年5月19日(日)
10時～12時
- 顔合わせ、行事予定の確認
- バザーの役割分担
- あらむね委員の選出

学院祭バザー

- 2019年9月14日(土)
9時～15時
全理事でバザーの開催と
喫茶を運営
(前日、バザー準備13時～
16時 バザー品の値付け
作業、喫茶会場準備)
バザーの収益金の中から
下記の寄付
- 学院へ10万円
- あしなが東日本大地震
津波遺児募金へ10万円

追悼行事

- 2019年10月30日(水)
11時45分～
会長、本部役員ならびに逝
去された回生の理事が出席

第67回創立記念ミサ

- 2019年11月20日(水)
11時45分～
会長、本部役員が参列

クリスマス行事

- 2019年12月21日(土)
クリスマスブローを会
長、本部役員で観賞

卒業式予行演習

- 2020年2月28日(金)
会長から卒業生へ祝辞と
同窓会入会を説明

卒業式

- 2020年2月29日(土)
会長、副会長が出席
同窓会からの記念品(コ
サージュと卒業証書ファ
イル)を66回生理事に
各教室へ運ぶお手伝いを
して頂く

各種会議

同窓会事務室にて
本部役員会議を月1回～2回
あらむね編集会議(5回程度)

2020年度 活動予定

2020年

入学式

4月8日(水)

理事会

5月17日(日)

10時～12時

バザー準備日

9月11日(金)

学院祭バザー

9月12日(土)

9時30分～(バザー&喫茶)

追悼行事

11月2日(月)

クリスマス行事

12月19日(土)

2021年

卒業式

2月27日(土)

2018年度会計報告 (2018年4月1日～2019年3月31日)

収入の部

(単位:円)

項 目	備 考	金 額
66回生会費	@20,000×105名	2,100,000
バザー売り上げ		762,720
雑収入		1151
利息		947
合計		2,864,818

支出の部

(単位:円)

項 目	備 考	金 額
あらむね発行		1,505,805
卒業式	コサージュ	45,240
	証書ファイル	65,100
バザー経費		298,278
学院祭経費		47,174
寄付(学院)		100,000
寄付(あしなが育英会)		100,000
ホームページ維持費		43,200
会議費		41,673
事務費		21,178
次年度繰越金		597,170
合計		2,864,818

2019年3月31日現在総資産額 36,709,849

あらむね編集委員募集!

「あらむね」の編集委員を募集しております。各企画
など皆さんのアイデアを記事にしてみませんか? 詳し
くはリヴィエ会まで。

あらむね原稿募集!

同窓会やりました! 同窓会開催します! 卒業生の活
躍、こんな仕事しています。賢明あるある、クラブ活
動の思い出などなど「あらむね」に掲載いただける原
稿を募集しております。どしどしお寄せください。

メールアドレス rivier.kenmei@gmail.com

あらむね編集委員

委員	10回生	栄喜 潔子(三木)・八尾 治子(沖塩)
	13回生	藤原 晴美(藤原)・山田せい子(平石)
	24回生	豊田しのぶ(内藤)・橋本 典子(宮田)
	33回生	小川 美典(瀬崎)・戸倉規容子(黒田)
	46回生	泉 亜希子(上下)・岸本有希子(村岡)
	53回生	田中 彩香(北村)・平尾英里香(岡本)
オブザーバー	24回生	入江 通子(中井)・池内 恵美(山田)

各理事へ連絡をとりたい場合は

個人情報の保護の為、各理事の連絡先は掲載しておりません。各理事への連絡を取りたい場合は、会長、副会長まで、もしくは同窓会Gmailにてお問い合わせください。

2020年度 理事会のご案内

日 時 2020年5月17日(日) 10時より

場 所 同窓会室

※理事が出席できない場合は必ず代理の方をお願いします。
※校内は駐車禁止になっています。

「卒業生VISIT」が始まりました

卒業生を講師に迎え授業をしていただきます。今年度は3名の方をお迎えいたしました。

- 7月10日 33回生 内橋 恵 先生
「脳から考える自己肯定感」 高校2年生対象
- 10月9日 14回生 永田 萌 先生
「夢をかたちに」 中学2年生対象
- 2月5日 32回生 末延則子 先生
「一歩踏み出す勇気」
一私らしく自分らしくー 高校1年生対象

いずれの授業も、生徒たちは目を輝かせて聞き入っていました。

学院追悼行事

11月の学院追悼行事でお名前をあげさせていただくのは、その年の9月末までの1年間に訃報の連絡があった方々です。

(あらむね掲載は12月末までに連絡があった方)

- なるべく早いご連絡を
- ご連絡の際は
 - * 卒業回(期) 生
 - * お名前(旧姓)(フリガナ)
 - * 逝去日
 を必ずお知らせください。
できればメールかFAXでお願いします。

学院祭バザーのご案内

今年も9月に学院祭が開催されます。

同窓会では例年通りバザーと喫茶を各回生の理事全員で行います。

当日は、同窓会室にくつろぎスペースを設けております。お子様連れの方もご利用ください。

日時 2020年9月12日(土)

バザー 時間 9時30分～
場所 同窓会室(食堂東隣)
※品物がなくなり次第終了

喫茶 時間 9時30分～13時30分

場所 賢明女子学院

2020
年度

バザーの出品物(日用品・手芸品など)にご協力下さい。出品物には、必ず希望の売値をつけておいて下さい。

また、管理の都合上**9月1日(火)**以降に本学院までご郵送・ご持参ください。
(平日の17時まで受付)

同窓会ホームページへの掲載を希望される方は

ホームページ掲載のご依頼は、以下の手順でお願いします。

- ① 賢明女子学院同窓会ホームページにアクセスする。
- ② ホームページ掲載依頼についてのガイドラインを一読

いただき、ご理解の上、掲載依頼書をダウンロードする。

- ③ 必要事項をご記入の上、Gmailで同窓会宛にお送りください。(FAXでも学院宛に送信可能です。)

編集 後記

今年も『あらむね』の各ページの下に、編集委員からの一言が載っています。是非ご覧ください。

編集にあたり、懐かしい先生方、卒業生の方々に出会え、世代を越えて交流できて賢明の良さを改めて感じました。協力して下さった全ての皆様に感謝申し上げます。

同窓会の情報は、FacebookやInstagramでも発信しています。是非、検索してフォローをお願いします。



同窓会Facebook



同窓会ホームページ

賢明女子学院中学校高等学校同窓会
<http://kenmei-rivier.jp/>

賢明女子学院

検索

<https://www.himejikenmei.ac.jp>

同窓会ホームページは、学院ホームページ下部にあります「同窓会」よりご覧下さい。

住所異動はご連絡下さい。TEL.079-223-8456 FAX.079-223-8478

E-mail rivier.kenmei@gmail.com

※卒業回(期)生・お名前(旧姓)(フリガナ)・できるだけ宛名にある会員番号をお知らせ下さい。
※できるだけメールかFAXにてご連絡下さい。